省人化にもつながる！

遠隔施工講習

建設機械の遠隔操作を、実機で体験できる1日講習

事前登録制	日程	時間
第１回	11月25日（水）	10:00-16:15
第２回	11月26日（木）	10:00-16:15
第３回	11月27日（金）	10:00-16:15

※各回の実施内容は、同一です。
※関東地整HP（下記URL及び二次元コード）より事前登録してください。

募集定員：各回24名程度

開催場所 関東技術事務所 松戸市五香西6-12-1

参加無料！

対象者：建設会社等における技術者（建設機械オペレータ等）

～遠隔施工技術を体験・習得したい方へ～

開催日：2026年11月25日･26日･27日

遠隔操作の実習内容

直接目視による遠隔操作



遠隔操作室（対策本部車）から Wi-Fiによる遠隔操作



簡易遠隔操縦式 バックホウの操作





リモコンによる操作や、直接目視とモニター越しからの感覚の違いなどを実体験！

※本講習はCPDS研修プログラムの認定を予定してます

講習内容

- 遠隔操縦式バックホウの操作 【実習】
- 簡易遠隔操縦装置による操作 【実習】
- i-Construction2.0について 【座学】
- 緊急時の遠隔施工対応 【座学】

受付開始
●10／23(金) 14:00～

https://www.ktr.mlit.go.jp/dx_icon/iconst_00023.html

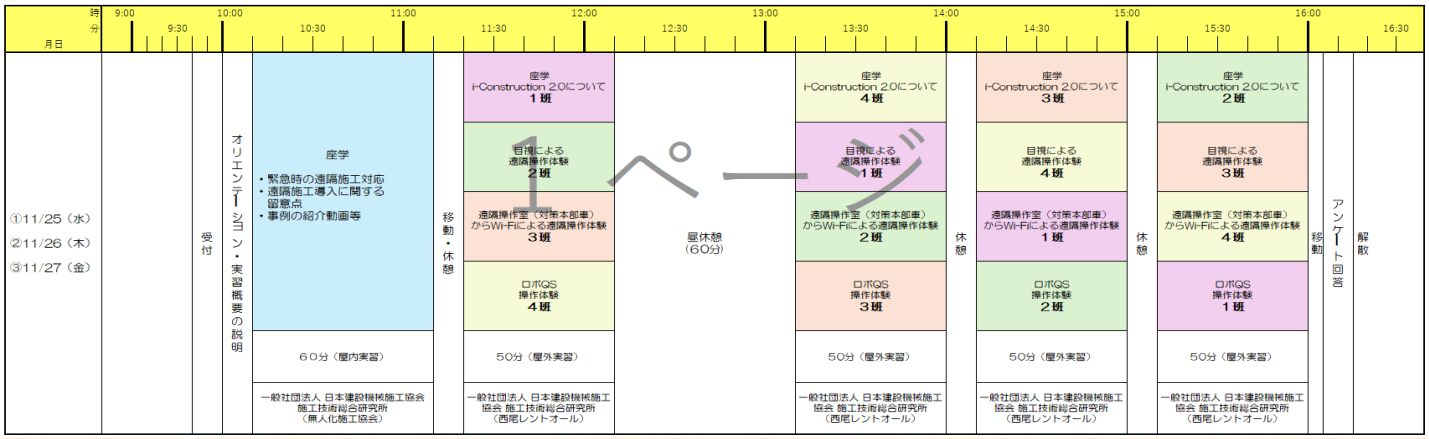
申込みはコチラ！



【お問い合わせ】
関東地方整備局 関東技術事務所
施工調査･技術活用課（ICT担当）
TEL：047－389－5124

関東 DX･i-Construction 人材育成センター

タイムスケジュール（案）



座学講習内容

座学講習では「i-Construction 2.0」や「緊急時の遠隔施工対応」、「遠隔施工導入に関する留意点」を学べます。
また、様々な現場での活用実績をまとめた「事例動画」の視聴により、災害対応だけでない今後の活用について知識を身につけます。

遠隔施工の導入メリット

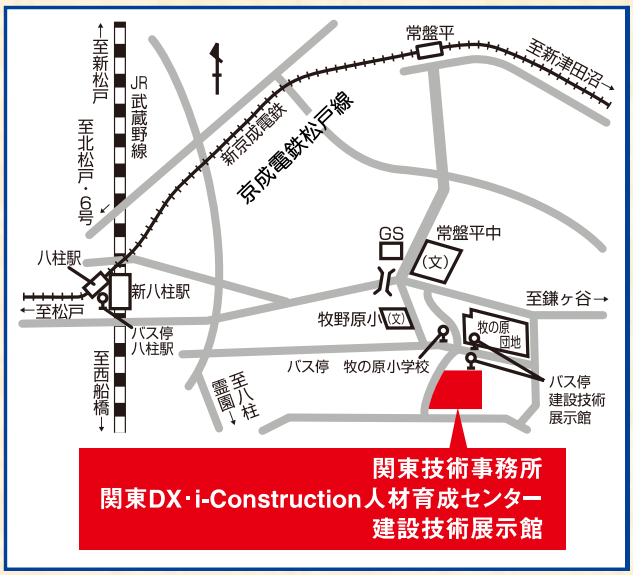
安全性の向上

崩落の危険がある災害復旧現場や高所など、オペレータが危険な場所へ立ち入ることなく作業が可能。二次災害の恐れがある緊急時でも、被災直後から早期に工事や土砂撤去に着手でき、社会インフラの早期復旧につながる。

労働環境の改善

安全な現場詰所やオフィスからモニター越しに操作できるため、騒音や悪天候、振動などの肉体的負担やストレスが大幅に軽減。
また、一人のオペレータが複数の現場や機械を操作することにより省人化が図れます。

■開催場所までのアクセス
※公共交通機関をご利用下さい。事情によりお車で来られる方は乗り合わせをお願い致します。



①東京 — JR 京葉線快速（武蔵野線直通） — 新八柱 — バス
②東京 — JR 山手線／京浜東北線 — 上野 — JR 常磐線 — 松戸 — 京成松戸線 — 八　柱 — バス
バス 牧の原団地行 運行間隔 約 10 分 — 約8分 — 建設技術展示館 — 徒歩2分 — 関東技術事務所

【交通】
ＪＲ武蔵野線　新八柱駅
京成松戸線　　八柱駅　　下車

京成バス千葉ウエスト②番乗り場
牧の原団地行き『建設技術展示館』下車

徒歩２分

